





2020.01.21

プレスリリース



# 第30回 京都フランス音楽アカデミー アンサンブル・スペシャル・コンサート 2020



(マリー=テレーズ・ケレール Ms、エマニュエル・シュトロッセ Pf、レジス・パスキエ Vn、オリヴィエ・シャルリエ Vn、ピエール=アンリ・グゼレブ Va、アンヌ・ガスティネル Vc) 2019年の演奏風景

1990年以来、毎春フランスから一流の演奏家であり教育者でもある教授陣を招いてマスタークラスを開講する 日仏音楽交流事業「京都フランス音楽アカデミー」。多数の才能ある若手音楽家の育成に貢献してきた当アカデミーは、 今年でいよいよ創設 30 周年を迎えます。

このアカデミーのためだけに京都に集結する教授陣が一同に演奏を披露する「アンサンブル・スペシャル・コンサート」は、 毎年フランス音楽を中心に、日本ではなかなか演奏される機会の少ない室内楽作品の紹介にも取り組み、いまや京都の 春の音楽シーンには欠かせない演奏会としてご好評をいただいております。

日時 2020年3月28日(土) 14時30分開演(14時開場) 会場 京都府立府民ホール "アルティ"

料金【全自由席・税込み】一般:¥4,000 学生:¥3,000

**前売り**: アンスティチュ・フランセ関西 - 京都 075-761-2105、大阪 06-6358-7391 京都府立府民ホール アルティ 075-441-1414 / エラート音楽事務所 075-751-0617 チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 173-546)

お問合せ: 京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局 075-761-2114 (火~土 10:00~18:00、日·月·祝休)

E-mail: academie@institutfrancais.jp / HP: academie.institutfrancais.jp

協力:エラート音楽事務所 075-751-0617

【主催】京都フランス音楽アカデミー実行委員会【後援】京都市、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本 【助成】公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 【協賛】稲畑産業株式会社、笹川日仏財団、パウエル・フルート・ジャパン、 株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパン、株式会社 Liuteria-TAKADA、株式会社 旭堂楽器店、SACEM(フランス著作権協会) 【協力】京都女子大学、ANA クラウンプラザホテル京都、ヴィラ九条山、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 【教育提携】パリ・エコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院























# プログラム

30 周年記念となる今回のプログラムの冒頭を飾るのは、当アカデミーをきっかけとしてフランスに留学した後、精力的に演奏活動に取り組む気鋭の日本人ヴァイオリニスト瀬﨑明日香と、初期から現在まで当アカデミー教授として長年多数の受講生に薫陶を与えてきたレジス・パスキエによる、日本では初めての特別共演でお届けするショスタコーヴィチ「2つのヴァイオリンとピアノのための5つの小品」です。ピアノのエマニュエル・シュトロッセとともに、3 名の日仏師弟アンサンブルから生まれる化学反応に是非ご期待ください。

また、最後は「フランス 6 人組」の 1 人として知られる作曲家**ミヨー**のバレエ音楽**「世界の創造」**で締めくくります。ジャズの影響を受けて作曲され、独特の響きが特徴的な同作品の室内楽版を、



(エマニュエル・シュトロッセ Pf、レジス・パスキエ Vn、 フローラン・エオー Cl - 2019年の演奏風景)

当アカデミー教授 5 名による圧巻の演奏で披露するスペシャル・コラボレーションは必聴です。ミヨーは、京都フランス音楽アカデミーを実施しているアンスティチュ・フランセ関西(旧関西日仏学館)の創設を提唱した当時の駐日フランス大使ポール・クローデルの秘書として外国滞在に随行するなど、クローデルと親交の深かった人物でもあります。当アカデミーのコンサートでのミヨー作品の演奏は、日仏文化交流に大きな貢献を果たしたクローデルへの間接的なオマージュにもなっています。

その他、若くしてこの世を去った**ルクー**の絶筆となり、第2楽章は師のダンディが補筆した「ピアノ四重奏曲(未完)」や、フランスの現代音楽シーンの中でも随一の実力派で、当アカデミー3度目の招聘となる作曲家エリック・タンギーの「Lacrymosa」など、多彩な室内楽の世界を是非ご堪能ください。

# 第1部

## D.ショスタコーヴィチ:2 つのヴァイオリンとピアノのための5つの小品

レジス・パスキエ(ヴァイオリン)、瀬崎明日香(ヴァイオリン)、エマニュエル・シュトロッセ(ピアノ)

#### P.ゴーベール:ロマンティックな小品

ジャン・フェランディス(フルート)、アンリ・ドゥマルケット(チェロ)、エリック・ベルショ(ピアノ)

## G.ルクー:ピアノ四重奏曲(未完)

クレール・デゼール(ピアノ)、オリヴィエ・シャルリエ(ヴァイオリン)、 ブルーノ・パスキエ(ヴィオラ)、アンリ・ドゥマルケット(チェロ)

## 第2部

# L.ブーランジェ: 春の朝に(ピアノ三重奏版)

エマニュエル・シュトロッセ(ピアノ)、レジス・パスキエ(ヴァイオリン)、ディアナ・リゲティ(チェロ)

## E.タンギー: Lacrymosa

フローラン・エオー(クラリネット)、クレール・デゼール(ピアノ)

# J.マスネ:スペインの夜

マリー=テレーズ・ケレール(メゾソプラノ)、ディアナ・リゲティ(チェロ)、エリック・ベルショ(ピアノ)

#### D.ミヨー: 世界の創造 Op.81b (ピアノ五重奏版)

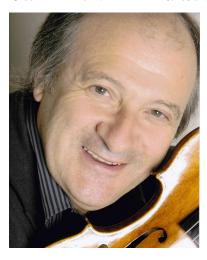
エマニュエル・シュトロッセ(ピアノ)、レジス・パスキエ(ヴァイオリン)、オリヴィエ・シャルリエ(ヴァイオリン)、 ブルーノ・パスキエ(ヴィオラ)、ディアナ・リゲティ(チェロ)

# 主な出演演奏家 プロフィール

## レジス・パスキエ Régis Pasquier (ヴァイオリン)

幼少時より音楽に触れた早熟の才能は、12歳にしてパリ国立高等音楽院でヴァイオリンと室内楽の1等賞を受賞。14歳で渡米し、アイザック・スターン、ダヴィット・オイストラフ、ピエール・フルニエ、ナディア・ブーランジェと出会う。数年後、ジノ・フランチェスカッティがその才能に惚れ込み、共にバッハの「2つのヴァイオリンのための協奏曲」を録音。各国の有名オーケストラにソリストとして招かれ、ロリン・マーゼル、ジョルジュ・プレートルら名指揮者と共演し、不動の評価を得る。室内楽では、アイザック・スターン、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチらと共演。91年ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック年間優秀ソリスト賞および、ヌーヴェル・アカデミー・デュ・ディスク特別賞受賞。若手育成にも力を注ぎ、85年~11年、パリ国立高等音楽院教授。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。ステファン・グラッペリの招きで複数のジャズコンサートに出演するなど、ジャズ愛好家でもある。使用楽器は1734年製グァルネリ・デル・ジュスの「クレモナ」。

京都フランス音楽アカデミー招聘教授としては 1994 年の第5回アカデミー以来、これまでに17回参加している。



#### ブルーノ・パスキエ Bruno Pasquier(ヴィオラ)

43 年生まれ。61 年にパリ国立高等音楽院で 1 等賞を獲得。65 年ミュンヘンの ARD 国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で優勝。65 年~85 年、パリ・オペラ座管弦楽団の首席ヴィオラ奏者、85 年~90 年、フランス国立管弦楽団の首席ヴィオラ奏者。豊かで美しく力強い音色によって、世界で最も才能あるヴィオラ奏者のひとりと評されている。ヴァイオリンのレジス・パスキエ(弟)とチェロのロラン・ピドゥーとともに弦楽三重奏団を結成。レコード録音では、76 年にディスク大賞、77 年にフランス・ディスク・アカデミー大賞など多数の賞を受賞。様々な制作にも携わり、08 年、ラジオ・フランスにて映画「青いパパイヤの香り」や「夏至」の音楽を担当したトン=ツァ・ティエのヴィオラ・コンチェルトを演奏。数々の国際アカデミーでも教えており、72 年よりパリ国立高等音楽院にて教鞭をとる。レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章、芸術文化勲章オフィシエ章受章。14 年よりパリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

京都フランス音楽アカデミー招聘教授としては 1990 年の初回開催以来、これまでに 16 回参加している。



# 第30回 京都フランス音楽アカデミー その他の催し

# ◆公開レッスン

## 2020年3月21日(土)、22日(日)11時30分~21時

京都フランス音楽アカデミーで開講するクラスは、全クラス非公開のため、各教授1回90分の公開レッスンを開催。

科目:ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、フルート、クラリネット、声楽

会場:アンスティチュ・フランセ関西 - 京都 稲畑ホール

聴講料:¥2,000(1科目1教授につき)、¥7,000(1日通し券) ※受講生は入場無料

逐次通訳付

# ◆現代音楽特別公開講座

# 2020年3月25日(水)~27日(金) 14時~16時

作曲家エリック・タンギー氏によるレクチャーを開催。(1回2時間、全3回)

会場:ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

聴講料:¥3,000(1回につき)、¥7,000(全3回)※受講生は入場無料

逐次通訳付

# ◆受講生コンサート

# 2020年3月29日(日)13時開演(12時30分開場)

各クラスから教授によって選ばれた優秀受講生(1クラス平均2名)のコンサートを開催。

会場:京都市立京都堀川音楽高等学校 ホール

入場無料 ※全自由席、予約不要

お問合せ: 京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局 075-761-2114 E-mail: academie@institutfrancais.jp / HP: academie.institutfrancais.jp

\*写真は2019年の公開レッスン風景(ジャン・フェランディスFI)



# 参考資料①: 京都フランス音楽アカデミー これまでの歩み

京都フランス音楽アカデミーは、ヴァイオリニスト森悠子氏と当時の関西日仏学館(現アンスティチュ・フランセ関西)館長ミッシェル・ワッセルマン氏の主導により、1989年に発足した日仏音楽交流事業です。1990年3月に第1回京都フランス音楽アカデミーが開催されて以来、毎年3月下旬より4月上旬にかけて、フランスよりトップクラスの演奏家達を教授陣に迎え、全国から約120人の受講生を集めて約2週間のマスタークラスを開講。その規模、歴史、水準の高さから、フランス国外で行われる最も重要なフランス音楽教育の場となっています。

声楽、ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロに、フルートなどの管楽器を加えた約12クラスのレッスンでは各クラスに通訳と伴奏が付き、レッスンの質の高さには定評があります。

# 今までの開催日程

第1回 1990年3月22日~ 4月3日	第16回 2005年3月22日~ 4月3日
第2回 1991年3月26日~ 4月7日	第17回 2006年3月21日~ 4月2日
第3回 1992年3月24日~ 4月5日	第18回 2007年3月21日~ 4月2日
第4回 1993年3月23日~ 4月4日	第19回 2008年3月21日~ 4月2日
第5回 1994年3月22日~ 4月3日	第20回 2009年3月21日~ 4月2日
第6回 1995年3月21日~ 4月2日	第21回 2010年3月21日~ 4月2日
第7回 1996年3月26日~ 4月7日	第22回 2012年3月18日~3月30日
第8回 1997年3月25日~ 4月6日	第23回 2013年3月21日~4月2日
第9回 1998年3月24日~ 4月5日	第24回 2014年3月20日~4月1日
第10回 1999年3月23日~ 4月4日	第25回 2015年3月20日~4月1日
第 11 回 2000 年 3 月 21 日~ 4 月 2 日	第26回 2016年3月22日~4月3日
第 12 回 2001 年 3 月 20 日~ 4 月 1 日	第27回 2017年3月21日~4月2日
第 13 回 2002 年 3 月 23 日~ 4 月 4 日	第28回 2018年3月20日~4月1日
第 14 回 2003 年 3 月 22 日~ 4 月 3 日	第29回 2019年3月19日~3月31日
第 15 回 2004 年 3 月 22 日~ 4 月 3 日	第30回 2020年3月17日~3月29日

(2011年3月20日~4月1日に予定していた第22回京都フランス音楽アカデミーは東日本大震災の影響により中止)

#### \*写真は2019年のレッスン風景(ディアナ・リゲティ初見特別講座)



# 参考資料②: 京都フランス音楽アカデミー 過去受講生の活躍

- 1990 年の初回開催以来これまでに延べ 2600 人以上が当アカデミーを受講し、国内や海外で多数活躍しています。
- 1990年: 小林美恵さん(90年受講生/ヴァイオリン、94年受講生/室内楽)ロン=ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で優勝(日本人初)
- 1992年: 玉井菜摘さん(92年受講生/ヴァイオリン)プラハの春国際コンクールヴァイオリン部門優勝
- 1993 年: **馬渕昌子**さん(90 年、91 年受講生/ヴィオラ)第 42 回ミュンヘン国際音楽コンクールヴィオラ部門 3 位
- 1996 年: **瀬崎明日香**さん(91 年、92 年、94 年、98 年、99 年受講生/ヴァイオリン)ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール第 4 位
- 1998 年: **高木和弘**さん(91 年受講生/ヴァイオリン)ジュネーヴ国際コンクール第 3 位(1 位なし)
- 1998年: 千々岩英一さん(92年受講生/ヴァイオリン)パリ管弦楽団の副コンサートマスターに就任
- 2000 年: 阿藤果林さん (91 年、92 年受講生/ヴァイオリン) 第 47 回パガニーニ国際コンクール第 3 位
- 2003 年: **福間洸太郎**さん(00 年受講生/ピアノ)第 15 回クリーグランド国際ピアノコンクール第 1 位(日本人初)
- 2003年: 阿藤果林さん(91年、92年受講生/ヴァイオリン)パリ・オペラ座管弦楽団の副コンサートマスターに就任
- 2005 年: **中木健二**さん(99 年~03 年受講生/チェロ) 第 5 回ルトスワフスキ国際チェロコンクール優勝
- 2006 年: **米元響子**さん(01 年~03 年受講生/ヴァイオリン) 第4回モスクワ・パガニーニ・ヴァイオリン・コンクール 原曜
- 2006年: 遠藤真理さん(96年、02年、05年受講生/チェロ)プラハの春国際コンクール チェロ部門 第3位(1位なし)
- 2006 年: **高木和弘**さん(91 年受講生/ヴァイオリン) 東京交響楽団のコンサートマスターに就任(2012 年まで在任)
- 2007 年: **中木健二**さん (99 年~03 年受講生/チェロ) 、フランスの"Note & Bien"チェロ国際コンクールで優勝
- 2007年: 吉田誠さん(06年受講生/クラリネット)第5回東京音楽コンクール木管部門 第1位及び聴衆賞
- 2008 年: 第 77 回日本音楽コンクールのチェロ部門で**伊東裕**さん(06~10 年、12 年受講生/チェロ)が出場者中最年少(16歳)ながら第 1 位と徳永賞を、ヴァイオリン部門で**石上真由子**さん(07 年~10 年、16 年受講生/ヴァイオリン)が第 2 位と岩谷賞(聴衆賞)、E.ナカミチ賞を受賞
- 2009 年: 神戸国際フルートコンクールの特別賞「現代音楽最優秀演奏賞」を**古田土明歌**さん(07 年受講生/フルート)が受
- 2009年: 第19回青山音楽賞で**堀江牧生**さん(07年、08年受講生/チェロ)が新人賞を、チェロクラスの伴奏を長らく務めていただいているピアニスト**山口博明**さん(01年受講生/ピアノ室内楽)が音楽賞をそれぞれ受賞
- 2010 年 : **中木健二**さん(99 年~03 年受講生/チェロ)がカルテット"Quatuor Raphael"で第 6 回ボルドー弦楽四重奏国際コンクール第 2 位
- 2012年: 初田章子さん(01年、04年受講生/フルート)第21回青山音楽賞受賞
- 2013年: 網守将平さん(13年受講生/作曲)第82回日本音楽コンクール作曲部門 第1位
- 2013 年: 牧野葵美さん(04、05、07 年受講生/ヴィオラ)第 22 回青山音楽賞 新人賞 受賞
- 2014 年: **吉田南**さん(14 年受講生/ヴァイオリン)第 83 回日本音楽コンクール ヴァイオリン部門 第 1 位、岩谷賞(聴衆賞)
- 2014年: 福田康之介さん(13年受講生/ヴァイオリン)メニューイン国際コンクール ジュニア部門優勝
- 2015 年: 周防亮介さん(13、14 年受講生/ヴァイオリン)第 25 回出光音楽賞 受賞
- 2015 年: **薮田翔一**さん(12 年受講生/作曲) ジュネーブ国際音楽コンクール作曲部門 優勝
- 2016 年: **菱田翔**一さん(12 年受講生/作曲)、**山根一仁**さん(13 年、14 年受講生/ヴァイオリン)第 26 回 出光音楽賞 受
- 2016 年: **橘爪恵梨香**さん(07 年、09 年受講生/オーボエ)第 85 回日本音楽コンクールオーボエ部門 第 1 位、岩谷賞(聴衆賞)
- 2016 年 : **城戸かれん**さん(2012~14、16~18 年受講生/ヴァイオリン)カール・ニールセン国際ヴァイオリンコンクール 第 4 位
- 2017 年: 北村陽さん(17 年受講生/チェロ)第 10 回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール優勝
- 2017年: 荒井優利奈さん(12年、13年受講生/ヴァイオリン)プラハの春国際音楽コンクール第2位
- 2017 年: **香月麗**さん(13、14、17 年アカデミー受講生/チェロ) 第 86 回日本音楽コンクールチェロ部門第 1 位
- 2018 年: ドイツ公共放送ARD主催の「第67回ミュンヘン国際音楽コンクール」ピアノとヴァイオリン、チェロによる三重奏部門で、元受講生 2 名(**小川響子**さん/ 06 年~15 年受講生/ヴァイオリン、**伊東裕**さん/ 06~10 年、12
  - 年受講生/チェロ)を含む「葵トリオ」が第1位。同部門では日本人として初入賞
- 2019 年: 毛利文香さん(15年受講生/ヴァイオリン)モントリオール国際音楽コンクール第3位
- 2019 年: 高木日向子さん(12 年、13 年受講生/作曲) ジュネーブ国際音楽コンクール作曲部門 優勝